

おかやま 地域づくり通信

協働で持続可能なおかやまへ！

巻頭 市民協働フォーラム「多世代でつくる持続可能な岡山市」

◎岡山市市民協働推進事業...令和3年度 of 取組紹介

◎地域の活動を応援する...区づくり推進事業、各種事業

◎岡山ESDプロジェクト活動支援助成金...令和3年度 of 取組紹介

巻末 事業報告「高校生の地域活動体験～ごみ拾いでマチの魅力を再発見～」

 Vol.2 2021年12月

注

目

令和3年度市民協働フォーラム

多世代でつくる持続可能な岡山市

多くの世代が地域活動に興味をもつことをねらいに開催した市民協働フォーラム。第一部では、第6回おかやま協働のまちづくり賞の表彰式、大賞取組「地域循環環境保全型事業「瀬戸内かきからアグリ」」の発表を行いました。

第二部では、フロレスラーの蝶野正洋さんをゲストに迎え、地域防災やAED救急救命の啓発活動に取り組まれている蝶野さんから、現役時代のエピソードを交えながらボランティア活動の大切さをお話しいただきました。トークセッションでは、うの放課後子ども教室実行委員会 会長の服部和博さん、一般社団法人TOCOL代表理事の山下リールさん、岡山高等学校の高校生たちが、蝶野さんと共に地域でさまざまな人々と協働で活動するおもしろさやこれまでの道のりなどをお話ししました。



第6回おかやま協働のまちづくり賞
受賞者のみなさん



トークセッション
登壇者のみなさん

＼協働で大切なことは？／

適切な役割分担と
汗をかくことだ！

みんなで持続可能なまちに
しないとガッデムだ！！



岡山市市民協働推進事業

平成26年度から開始した「岡山市市民協働推進モデル事業」は、令和3年度から「岡山市市民協働推進事業」と改称しました。目的や内容はこれまでと変わらず、岡山市における社会課題の解決を市民と行政の“協働”の手法によってすすめるために、協働によってより効果的に課題解決がすすむ事業を公募し、実施するものです。



事業の流れ

ワークショップ
や個別協議

問題意識や情報の共有、課題の原因や背景を分析して解決策を検討する「課題解決ワークショップ」や個別の協議等のプロセスを経て事業提案に至ることが多いです。

事前協議

秋頃に事前協議期間を設けています。事前協議は協働推進事業の提案に必須です。協議の結果、事業提案に至らない場合があります。

提案・審査

12月頃に指定の書類を提出して提案、2月頃の岡山市協働推進委員会にて審査が開かれます。岡山市担当課・団体の双方が審査会でプレゼンテーションを行います。

事業実施

事業期間は最長2年間ですが、毎年度、事業計画(提案)→審査→事業実施→事業報告を行います。2年間の事業実施を保証するものではありません。

事業終了後

本事業の終了後は、行政で予算化して一般施策化、または団体の自主事業として継続実施など、継続的に課題解決をすすめるしくみの構築が求められます。

事業の提案について

提案の種類

NPO提案

団体が自由な発想で公共的課題を設定、解決のために市とともに実施する提案。補助率4/5、上限200万円。

行政提案

あらかじめ市が公共的課題を設定、解決のために市とともに実施する提案。補助率5/5、上限200万円。

主な団体要件

- ・利益の分配を目的としない非営利団体。
- ・岡山市を主な活動範囲としている。
- ・定款や規約等を有している。
- ・運営・会計処理が1年以上適正に行われている。
- ・10人以上で構成されている。

※詳細は要項をご確認ください。

事前協議は、協働のパートナーである岡山市担当課と団体の双方が市民協働推進事業の終了後の展開など、将来的なビジョンを共有し、協働する目的を確かなものとするためにとても大切なプロセスです。

事前の丁寧な打合せが、円滑な事業実施と事業終了後の目的達成のカギを握っているといっても過言ではありません。



令和3年度市民協働推進事業の取組

就学前親子の居場所づくり事業 NPO法人岡山市子どもセンター／地域子育て支援課

子育てに不安感や孤立感を感じる親が増える中、地域と関わりながら親も子どもものびのびと育つために、ニーズ調査結果をふまえた親子の居場所を運営し、望ましい居場所のあり方を実践・検証しています。

旧白石幼稚園での週3回の居場所開設に加え、今年は大元中央公園で「出張ひろば」を月1回開催するなど、地域と関わる取組も広がっています。得られた成果や具体的なノウハウをまとめて市内の子育て支援関連施設に配布するなど、効果的な実践方法を広めることで、市の子育て支援施策の底上げを図ります。



←ニーズ
調査結果



やりたいあそびがいっぱい！

貧困家庭の抱える「子どもの体験不足」の 解消にむけた体験活動ロールモデル構築事業 NPO法人チャリティーサンタ／こども福祉課

貧困は体験の格差にも繋がり、子どもの育ちに影を落とし、親は自分を責め孤立感を深めています。家庭の困難さに寄り添う体験の機会を継続的に届けられる仕組みづくりを目指し、昨年7月に「親子応援メール」を創設、情報が家庭に届くツールが実現しました。



↑事業レポート

今年は企業やNPOをサポートし、様々な団体が協働して体験活動を生み出し、継続できるモデル作りに取り組んでいます。ケーキ屋さんの誕生日ケーキのプレゼント、アパレル店員さんの古着でスタイリスト体験等々、可能性が広がる6つの事例を中心に、発行したレポートをぜひご一読ください。

保護犬の人慣れ訓練プロジェクト 一般社団法人ALL AS ONE／保健所衛生課

保健所に保護された所有者のいない犬たちは、人に慣れるための訓練を経て、新たな飼い主へ譲渡されていますが、訓練は少人数のボランティアによって担われており、その人数や環境は決して十分とは言えません。

このプロジェクトでは、閉ざされた施設で不幸な一生を過ごす犬の数を少しでも減らすため、安定的・継続的に保護犬の訓練を行うための体制整備（ボランティアの募集・育成のしくみづくり等）と適切かつ効率的な譲渡を実現するための情報発信や場づくり（譲渡会の開催等）に取り組んでいます。



譲渡会の様子

保健所に収容される乳飲み仔猫対策について 岡山手のひら子猫／保健所衛生課



ボランティア説明会の様子

保健所が保護する飼い主のいない猫の80%以上は離乳前の幼齢猫ですが、養育するための施設や人員の不足により保健所が幼齢猫を養育し続けることはできません。そのため、現在はボランティアが保健所から猫を引き取り、育て、新たな飼い主へ譲渡している状況ですが、これらの活動には相応の経験、負荷、責任が求められるため、担い手が定着しづらい状況です。

そこで、ボランティアの増加と定着を目的とした説明会の開催、経験者による伴走支援、育成マニュアルの作成等を通じて、安定的なボランティア活動のための基盤の整備を進めています。

岡山市災害ボランティアネットワークの活動

社会福祉法人岡山市社会福祉協議会、岡山市、NPO法人岡山NPOセンターが主催し、大規模災害の発生時に開設される災害ボランティアセンター（ボラセン）の運営を体験する講座と訓練を実施しました。

「災害ボランティア養成講座」

日時：令和3年9月25日（土）10:00～16:00

場所：ウェルポートなださき（岡山市南区片岡159-1）

講師：増田 勇希さん（NPO法人ひろしまNPOセンター理事）

当日は37名の市民、29名のスタッフ（主催者）が参加して、ボラセンの機能と運営への理解を深めました。これからもボランティア・NPOとの協働による円滑なボラセン運営のための講座や訓練の機会をつくっていきます。



災害ボランティアネットワークについては以下のページをご覧ください。

<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/22747>



地域の取組を応援する

岡山市では、町内会や各地域の協議会組織、NPOなどが地域の課題解決のために取り組む活動に対して、補助制度や各種支援制度、講座等により支援を行っています。地域に暮らすみなさんのもつ力で住み続けられる地域づくりを進められるよう、さまざまな支援をご活用ください。

区づくり推進事業 [地域活動部門]

町内会等の地域住民組織をはじめ、NPO法人、ボランティア団体、学校、企業等の多様な組織が主体となって協働し、より暮らしやすい地域を実現するための継続的な取組を支援する制度です。活動目的を「地域課題の解決」「地域課題の掘り起こし」「地域計画づくり」「課題解決型の地域組織づくり」の4つに分類して、取組を通じて目指す目的を明確にします。令和3年度の地域活動部門では、14事業（北区：4事業、中区5事業、東区4事業、南区1事業）が行われています。このうち以下の3つの事業について、活動内容などを紹介します。



防災訓練の様子

- 地域づくり会議の運営と事業展開
／平井学区地域づくり会議

地域の諸団体の代表者などを中心に、地域課題のテーマごとに専門部会に分かれて課題解決の方法などを話し合います。課題解決に向けて取り組んでいる健康チェックや認知症予防対策の「オレンジカフェ」の運営、子育て世代を対象としたプレイパークの開催、災害時や防犯に役立つ緊急用ホイッスルの配布などは、地域のさまざまな団体と協働して取り組んでいます。地域づくり会議が地域の課題解決の調整役となり、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指します。

- 地域で支え合う仕組みづくり
／NPO法人城東台みんなの互助会

学区内の各町内会と共に実施したアンケート調査では、家事援助や安否確認、避難支援などさまざまな地域住民のニーズが明らかになりました。この結果を踏まえて、地域で支え合う互助の仕組みを立上げました。家事・生活支援事業では、住民の支援ニーズとボランティアスタッフをマッチングして、草取りやゴミ出し等を行います。相談支援事業では、司法書士や社会保険労務士による無料相談会を実施しています。これらの取組から、安心して住みやすい地域づくりを目指します。

- 大規模災害に備える安全安心な二藤作り
／第二藤田学区大規模災害対策委員会

海拔0メートル地帯である藤田地域は、大規模災害等の発生時に浸水・液状化・津波などによる甚大な被害が予想されます。災害発生時、速やかに対応できる体制の整備と、学区内住民の防災意識向上のために、避難所開設訓練や研修を行っています。笹ヶ瀬川河川ウォーキングでは防災訓練を兼ねて、簡易ベッド・担架作り・AEDや災害用伝言ダイヤルの使用体験等を行います。地域の諸団体や企業などと協力して、安全安心な地域づくりを推進します。

区づくり推進事業 [地域活動部門]

募集期間	第1期（事業実施期間：4月～翌年3月） →募集期間：前年12月～1月下旬ごろ 第2期（事業実施期間：9月～翌年3月） →募集期間：6月ごろ
事業区域	概ね小・中学校区の単位 ※活動の広がりが期待できる場合は、単位町内会等の規模での実施も可
補助	限度額200万円 ※補助率：事業総額の2分の1(50%)以内 新規事業の立ち上げ年度に限り、事業総額の5分の4(80%)以内 ※新型コロナウイルス感染防止対策に関して必要となる経費については、補助限度額10万円(補助率10/10)の上乗せ
応募方法	事前相談のうえ、申込書を期日までに市民協働企画総務課に提出 ※申込書は市民協働企画総務課または岡山市のホームページから入手可能です
お問合せ	岡山市市民協働企画総務課（制度について） ☎086-803-1061 ✉kyoudou@city.okayama.lg.jp ESD・市民協働推進センター（事業計画について） ☎086-803-1062 ✉esd-smc@googlegroups.com

フォーラム・講座など



中山間地域・中心市街地など、地域の状況を踏まえてテーマ設定したフォーラムや講座を年2回程度開催しています。大学教員などの専門家の講演と、県内の取組事例などから活動のヒントを学びます。

	中山間地域	中心市街地
令和元年度	伝統芸能の継承	—
令和2年度	郷土愛による地域づくり	マンションコミュニティ
令和3年度	中山間地域のひとづくり	定年退職者の地域デビュー



暮らしている地域での生活を続けていくため、次世代に地域の誇りや豊かな自然環境のバトンをつないでいくために、多くの方が住み続けられる地域づくりに関わっています。講座等に参加して、地域での取組のヒントを得ましょう。



市民活動支援アドバイザー派遣

町内会などの住民自治組織やNPOなどが行う市民活動・地域活動を促進し、地域課題の解決を図るため、団体の活動に助言等を行うアドバイザー派遣制度を、令和3年度から新たにスタートしました。

対象

岡山市内に活動拠点を置く非営利の市民活動団体であり、令和3年4月1日時点で①または②を満たす団体。

- ①「岡山ESDプロジェクト」参加団体、または「つながる協働ひろば・団体検索サイト」登録団体
- ②1年以上継続して活動している市民活動団体

流れ

- ①派遣内容をESD・市民協働推進センターに相談。
- ②アドバイザーや内容、日程を調整。
- ③アドバイザーが講義やワークショップ等を実施。
- ④実施後2ヶ月以内に限り、アドバイザーに追加の質問や相談が可能。

カテゴリ	内容	アドバイザー
ICT	ZoomなどのICTを活用した地域活動	杉本 倫典さん／竜之口学区電子町内会
ICT	支援者拡大のためのマーケティング・データ活用	奥田 修平さん／認定NPO法人ポケットサポート
資金調達	助成金の選び方、書類等の作成支援	和田 広子さん／(公財)福武教育文化振興財団
地域活性化	さまざまな組織と共に地域で活動する上での付き合い方やポイント	美咲 美佐子さん／NPO法人岡山市子どもセンター
地域活性化	地域の特性(人・物・環境など)を活用して、地域を元気にする活動について学ぶ	藤原 基勝さん／高野尻村をつくる会
情報発信	効果的な広報・プレゼンテーションのポイント	井口 陽平さん／NPO法人若者応援コミュニティのりす
情報発信	イベント、パンフレット作成、イベントの実施にあたり、大学生から直接意見をもらう(※講座等は実施しません)	ノートルダム清心女子大学学生(ノートルダム清心女子大学地域連携・SDGs推進センター)
福祉	地域と社会福祉法人が繋がる地域活動の始め方	前田 泰史さん／社会福祉法人報恩積善会
福祉	地域の困りごとの把握方法と支え合い活動の始め方	柿崎 由秀さん／平島健康福祉委員会 難波 徳行さん／とみやま助け合い隊
ESD	ESD活動の導入	池田 満之さん／岡山市京山地区ESD・SDGs推進協議会

※令和3年度アドバイザー。アドバイザーは都合により変更する場合があります。

岡山ESDプロジェクト活動支援助成金

「岡山ESDプロジェクト」に賛同し、岡山地域(岡山市及びその周辺)において市民のために幅広くESDを推進する活動を行う岡山ESDプロジェクト参加団体(以下、「参加団体」という。)の事業に対して、より活動を充実させるため、予算の範囲内で、岡山ESDプロジェクト活動支援助成金を交付します。助成金の概要は以下のとおりです。(令和3年度の募集内容です。)

対象となる団体

- ◆岡山ESDプロジェクト参加団体、または新たに参加団体への登録を希望する団体で、岡山県内に所在地がある団体。(国や地方公共団体とその外郭団体、大学、企業は対象外です。)

対象となる事業

- ◆持続可能な社会づくりのために、社会課題と身近な暮らしを結びつけ、新たな価値観を生み出し、行動を変革することを目指す学習や活動。また、持続可能な社会づくりのために必要な知恵や文化を次世代に継承していくことを目指す学習や活動。
- ◆主な活動場所が岡山市域、あるいは岡山市民を対象とした事業。
- ◆「岡山ESDプロジェクト2020-2030基本構想」の重点取組分野に該当する事業。

助成金額と補助率、対象経費

- ◆新たに岡山ESDプロジェクト参加団体に登録する団体。
平成30年4月1日以降に登録した団体で、これまでに本助成金の交付を受けた回数が2回以内の団体。
助成金額：上限15万円(補助率5/5以内)
- ◆平成30年3月31日以前に登録した団体で、これまでに本助成金の交付を受けた回数が2回以内の団体。
助成金額：上限10万円(補助率4/5以内)
- ◆既に3回以上本助成金の交付を受けた団体
助成金額：上限5万円(補助率4/5以内)

流れ



毎年4月上旬に助成金の説明会を開催しています。前年度の助成団体の報告会も兼ねており、団体間の交流の機会にもなっています。
説明会の様子→



本助成金を受け取る団体は、岡山ESDプロジェクト参加団体でもあります。**団体間の連携・協働を促進するために、助成団体交流会を開催しています。**
この場で知り合い、気づきや学び、新しい取組が生まれることを期待しています。

※令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明会の規模を縮小、報告会・交流会を中止しました。
※年度によりスケジュールが変わることがあります。

令和3年度はNPOや高等学校など33団体が助成金を活用してESDの取組を進めています。その中から、3つの取組について紹介します。

コノヒトカンプロジェクト／フードロス削減、一缶でお腹いっぱいになる缶詰をつくって子どもたちに届けよう！

「フードロス」と「貧困問題」の解決のために、地域の人や企業が取り組む事業です。フードロス食材を用いて作った缶詰を、児童養護施設やこども食堂、貧困問題の解決に取り組むさまざまな支援団体に配布して、貧困状態にある子どもたちに届けます。



食材提供をする企業、缶詰レシピを共同制作するホテルやシェフの方々と共に、「お腹が膨らむ」「イベント参加で体験が膨らむ」「夢や希望が膨らむ」「フードロスへの関心が膨らむ」「地域への愛着が膨らむ」缶詰を子どもたちに届けます。



岡山高等学校 ／ 高校生・企業協働フードロス削減プロジェクト

高等学校においてもSDGs達成に向けてプロジェクトに取り組むことが増えてきました。岡山高等学校では、「学童保育×フードロス」をテーマに市内複数の高校や団体、企業と協働して、市民に向けてフードロスについて知見を深める機会を提供しました。



8月には全国の学童保育関係者・児童らとオンラインで交流して、児童は楽しみながらフードロスを学びました。その成果報告を11月に岡山市民を対象に開催しました。県内でフードロス削減に取り組む高校からの発表もあり、高校が協働でSDGsに取り組む先行事例にもなりました。

NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山 ／ グローバル人材の育成

次世代を担う若者たちがSDGsの発想・手法を身に着けて、将来どこで暮らし、どのような仕事に就こうとも、それぞれの分野で強くリーダーシップを発揮できるよう、グローバル人材を育成することを目指しています。

岡山市在住の中高生を対象に、「国際塾」「高校生グローバルゼミ」「ESD Café」を実施します。多様な講師による講義やテーマに関する議論、他校生徒との交流などで刺激を受け、参加者は自身の「志」を形成していきます。



岡山ESDプロジェクト ユース活動支援助成金

趣旨

岡山ESDプロジェクトの重点取組「ユース・人材育成」の一環として交付する助成金です。持続可能な社会の実現に向けて活動する岡山地域のユースが、国内外の事例調査や研修等に参加することで研鑽を積み、所属団体の活動の進展や、地域におけるESDを推進し、SDGsの達成に向けたアクションを促進することを目的としています。

対象者

岡山ESDプロジェクト参加登録団体または新規登録する団体に所属する18歳から35歳までの方。（高等学校等に就学中の者は除く）

対象事業

国内外で行われるESDやSDGs推進のための先進事例の調査や、研修等（会議、ワークショップ等を含む）への参加。

助成金額

国内：上限10万円、 海外：上限20万円 を原則とします。

毎年6月頃に募集を開始しているよ！詳しくはSDGs・ESD推進課のホームページをみてね！



「SDGs」「持続可能な地域づくり」などの言葉を耳にしている高校生世代を対象に「認定NPO法人グリーンボード岡山チーム」「一般社団法人ぷらっと西川」のみなさんと一緒に開催しました。市内8つの高校から18名が参加しました。

2団体の活動内容や、地域活動に取り組んでいる大学生の気持ちなどを教えていただいた後、ごみ拾いを行いました。道中では、西川エリアのまちづくりの具体的な取組をお話いただきました。



活動後の振り返り

振り返りでは、活動して気づいたこと、これから地域を担う一員として取り組みたいことなどを発表しました。



西川周辺でのごみ拾い



まちづくりの取組を学ぶ

今回の講座は「認定NPO法人グリーンボード」「一般社団法人ぷらっと西川」のみなさんの経験や協力があつたからこそ企画することができました。今回の活動をきっかけに、自分の興味のある分野の地域活動に参加してもらえたら嬉しいです。



市民協働企画総務課
綾野さん



参加者の高校生と協力団体のみなさん

認定NPO法人グリーンボード

全国に展開するごみ拾いボランティア団体です。岡山では県内各地で月に何度かごみ拾いをしています。高校生も大学生も、幅広い年代の人と一緒にキレイなまちをつくっています。



一般社団法人ぷらっと西川

「地域価値を高めながら安心して暮らせるまち」をめざして、西川で活動する団体です。暮らす人・働く人・訪れる人、みんなの笑顔が増えるよう、エリアマネジメントに取り組んでいます。



ESD・市民協働推進センター スタッフのつぶやき

令和3年度からスタートした「第2次岡山市協働推進計画」では、協働の主体となる「新たな担い手」の発掘・育成が基本方針の一つに掲げられており、具体的な施策として「若者の人材育成」を実施することになっています。これまで以上に若者に向けたアプローチを強化していきたいと思っているので、アドバイスや提案があれば、お聞かせください。(センター長：T)

◇Twitterを日々更新しています！

@kyoudouhiroba フォローしてね(^^)♪

令和3年度からつながる協働ひろばのTwitterを開始したよ！日々の取組やお知らせ等をつぶやくよ(^^)ぜひ、フォローしてね！！



最新情報は、「つながる協働ひろば」で検索！



発行：ESD・市民協働推進センター

ESD・市民協働推進センターは「協働を推進するためのコーディネート機関」です。人材育成、情報共有および交流機会の創出、社会課題解決のための取組の推進などを担います。

岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市役所2階 市民協働企画総務課内
TEL : 086-803-1062 / 070-5055-7589
E-mail : esd-smc@googlegroups.com

つながる協働ひろば



ホームページ Facebook